

# 令和5年度第2回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

## 1 概要

日 時	令和5年7月28日(金) 13時10分から16時15分まで
場 所	日野市役所本庁舎5階 501会議室
出 席	(市民委員) 比留間委員長、増永委員、小林委員、亀山委員 (行政委員) 赤久保委員、竹村委員、設楽委員 (応募事業者) 株式会社 フクシ・エンタープライズ、B社
事 務 局	(地域協働課) 中山係長、小倉主事 (企画経営課) 松井主幹、永尾
傍 聴 者	なし
議 事	地区センターの選定について ● 株式会社フクシ・エンタープライズ ● B社
記 録 作 成	(企画経営課) 永尾
配 布 資 料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

## 2 要点録

### (1) 審査手順の説明

#### ○ 事務局

本日の進行について説明。

#### ■ 委員

事業者のプレゼンテーションの間、名立てはどうするのか。

#### ○ 事務局

事業者のプレゼンテーションの間のみ、事務局にて一時回収させていただく。

### (2) 日野市立地区センターの選定(所管:地域協働課)

#### ○ 施設所管課

施設の概要及び審査の際の重点項目などについて説明。

#### ■ 委員

指定管理者募集要項の中に市ホームページからのダウンロードURLが記載されているが、こちらがアクセスできなかった。選定に当たっての配慮が足りないのでは。

○ **事務局**

現在も掲載されているが、URL が異なる。

こちらは募集要項の直接の URL ではなく、募集要項へ案内する URL のもの。現在も当該 URL はアクセス可能。

■ **委員**

適切なアドレスとしていただきたい。

■ **委員**

地区センター66 施設中 64 施設が今回選定する指定管理の対象となっているが、2 施設を削除している理由は何か。

○ **施設所管課**

多摩平中央公園地区センターについては、今年から「うちたす」としてリニューアルしている。より、誰でも使えるかたちとなっており、運営形態を変えている。

多摩平一丁目地区センターについては、市民活動支援センターの移転に伴い、その分館と位置付けるため、対象外となっている。

■ **委員**

今回 2 者から手上げがあったが、何らかの経緯があるのか。

○ **施設所管課**

見積りは依頼したが、応募自体は募集要項を見てご検討、ご応募いただいたもの。

■ **委員**

現在の指定管理者は日野市企業公社だが、そちらからの応募がなかったのはなぜか。

また、募集要項で指定管理料の参考額が提示されているが、2 者とも参考額よりかなり高額になっている。要求水準の乖離はどのように考えるべきか。

○ **施設所管課**

企業公社については、令和 6 年 3 月末で解散をするため応募がなかったもの。

予算額の乖離については、企業公社が特に安価だったものと認識している。一般的な価格帯はこのくらいだと思っている。

■ **委員**

選定後、要求水準に近いかたちに指定管理料を交渉していくことが可能なのか。

○ **施設所管課**

可能と考えている。

■ **委員**

今の業者さんをお願いしている業務内容と、今回募集している新しい指定管理者へお願いする業務内容で大きな変更はあるか。

○ 施設所管課

特にない。

(3) プレゼンテーション及び質疑応答 (B 社)

◇ B 社

提案内容について説明。

■ 委員

今の業務を引き継ぐ、というご説明があった。そのうえで土日の対応をしたい、というご提案があった。むしろ今まで土日対応がなかったことに驚いている。

一方で、巡回対応については午前 9 時～午後 5 時半となっている。土日や夕方に利用が多いと思われるが、その時に電球が切れたりしたらどのように対応されるか。

◇ B 社

巡回対応の職員の勤務時間が午前 9 時～午後 5 時。

必要な対応については、緊急度が大小それぞれあると思われるが、特に緊急の必要性がある対応については、午前 9 時から午後 9 時までには本社に事務局職員がいるため、事務局のホットラインがつながるようになっており内容によっては対応可能と考えている。

■ 委員

地区センターは午後 9 時半までとなっており、9 時までだと対応ができない 30 分の空白時間があるが、その点はいかがか。

◇ B 社

現状は平日の夜間、土日については対応が全くない時間帯であり、確かに 30 分の空白はあるが、現状に比べて市民サービスが拡充されたものと評価していただけるものと考えている。

■ 委員

大変丁寧に資料を作成される事業者さんと感じている。日野市との関係性について、運営経費のうち公金的なものはあるか。

正味財産増減計算書に「受取補助金」とあるが、これは市から受けているものか。

◇ B 社

市から一部補助金を頂いている。それ以外は事業による自主財源で賅っている。

■ 委員

お子さんへの視点について。様々ご提案いただいている。現在の事業では体操などが運用されていて人気がある様子がうかがえる。お子さんへのワークショップや、もう少し上の小学生や中学生などの交流の場として、現在の活動などについて地区センターを活用していく自主事業的なお考えはあるか。

#### ◇ B社

まず、地域でどのようなニーズがあるかを調べていくところから始めていきたい。お声があがれば、実費相当の参加費を頂くようなかたちで、第2段階のところで必要としている方たちと話し合いながら実施していきたい。

また、部活動の地域以降の話が進んでいる。青少年の活動の場が求められているなか、その会場として地区センターを積極的に活用していけたらと考えている。

#### ■ 委員

自治会の加入率は50%を切っているという現状があり、地域コミュニティの希薄化が進んでいる。地区センターとは、地域のコミュニティにとってどのような施設であるべきと考えているか。

地域がこの指定管理を受けることによってどのように活性化されるのか、ビジョンをお持ちであればお聞かせいただきたい。

#### ◇ B社

現在、自身も3世代で市内に居住している。老人会や選挙のお手伝い、お祭り、子ども会などがあって、地区センターに行くと、自然と人につながっていけるという実感がある。子どもも、自分が大人になり子ども会の役員をやりたい、と言っている。そういった子どもを増やすことが、自治や地域の交流を深めてために最も必要なことと感じている。

また、未来予想図として、自治会加入率の低さを見ると、地域を嫌いではなくても「無償の奉仕」が面倒くさいとか、仕事の形態が様々で自治会活動に合わせられない、だから入らないといった負のサイクルがあると思っている。コミュニティの再構築が大事だが、一度バラバラになったものを集めるためには、自分の目的にあったところに向かっていくことが最初の一步。それには拠点が必要。徒歩圏内に地区センターがあって、そこで管理者が何かをやってオープンしていれば、そこに行けば何かができる、という場ができる。そこに2、3回通っていくと少し話ができるようになる。そんなところから物事が始まると考えている。

また、近くにある、というのが大きなメリット。地域のリビング的な場所として使えたらいいと思っている。役割を決めて、何かをしないといけないという義務感ではなく、ゆるやかな拠点としてゆるやかな人間関係が築けるような拠点として、地区センターを活用していきたい。

#### ■ 委員

本指定管理を受託したとして、人員を増やす計画か。

また、提案事業費ということで計画に記載があるが、その計画は収支の指定管理料の中に入っているのか。

#### ◇ B社

巡回する2人分については、新たに雇用する。

本部については、1人追加で雇用する計画がある。本部についてはこの中で収まると考えている。

提案事業費を込みで、指定管理料を年間総額としてやっていくものとして計上している。

#### ■ 委員

同種の施設の指定管理の実績は、5年以上あるということで良いか。

◇ B社

はい。

■ 委員

職員の研修に、障害者差別解消の内容が含まれているか。

◇ B社

定期的に障害者等のマイノリティに関する研修が計画されているわけではないが、様々な事業を展開している中で、常にそうした対応が話題として職員間でも出る。また、ニュースなどで関心が高まっているときには、必要な研修を実施している。

障害者差別解消については、市民に向けた講演会などを開催している。

■ 委員

鍵を無人で管理していくというご提案かと思うが、盗難対策はどのように考えているか。

◇ B社

セキュリティはお金をかければいくつかのシステムはある。ただ、地区センターの管理自体が、様々な自治体の間で多様化している。完全に無人の管理もシステムとしてはできなくはないと思うが、これまでの成り立ち、管理スタイルなどを考えると、それを一本化してしまうのもイージーかなと思う。リスクはあるかもしれないが、まずは現状を維持して運用し、トラブルが頻発するようであれば次の対応を考えるとところかなと思う。ギリギリのラインなのかもしれないが、地区センターの理屈からすると、それが成り立つうちはそのようにあるべきと考えている。その為、一元管理は今のところ考えていないが、要望もあることは承知しており、予算がついて、物理的に可能なのであれば検討していきたい。

■ 委員

その予算というのはどこの予算か。仕事をとった前提で、別途費用が必要ということか。

◇ B社

提案事業としての枠となる。本来業務というのはそのまま地区センターの維持管理をするという現行の業務をスライドするのでいっぱいいっぱい。暗証番号付き鍵の一元管理などは、その範囲ではできないので、プラスの予算が付けば、ということと考えている。

収支計画では、提案事業費に含めている。

■ 委員

提案の中に Wi-Fi を設置とあるが、全ての地区センターで検討されているのか。その必要性をどのように捉えているか。

◇ B社

あるに越したことはない、と考えているが、優先順位として高くはない。予算が生み出されれば考えていく材料になると思う。その為、受託した際に必ず実施するプログラムという位置づけではない。

■ 委員

今まで様々な業務をされている中で、強みはあるか。

#### ◇ B社

ひとつは、コミュニティの場所が増えるところ。乳幼児親子の居場所事業をやっており、市の事業にずっとかかわってきた。この場所が1か所だけしかなくてここに集まるのではなく、色々なところで展開できる、というところに魅力を感じている。

学びの継続というところを考えている。53年前に30代だった方が80代になり、いよいよここまで通えなくなったからやめる、という方が出てきた。そうした方のご近所に学びを届ける、ということができると考えている。

#### ■ 委員

今回のプレゼンテーションを行うにあたって、パワーポイント等を利用されなかったのはなぜか。

#### ○ 事務局

お問合せは頂いていたところ、会場の都合や各社の公平性を担保するにあたり、事務局より一律して禁止とさせていただいた。

### (4) プレゼンテーション及び質疑応答（株式会社フクシ・エンタープライズ）

#### ◇ フクシ・エンタープライズ

提案内容について説明。

#### ■ 委員

地区センターの管理運営は、自治会任せになっているというのが現状。

そうした中で、施設予約システムとリモートロックシステムの話は魅力的。導入可能性調査とあるが、実際に実現している施設があるのか。

また、かなり盛沢山なプレゼンだったが、これらを実現するだけの人材、体制は可能なのか。

#### ◇ フクシ・エンタープライズ

施設予約システムとリモートロックシステムは、スポーツ施設を多く運営しているが、専門業者と導入に向けた調査を行っている状態。導入に至った事例は、社内的にはまだない。

導入に向けた金額面以外の課題も残っている。例えば、施設の扉まで電源を持ってこれるか、ネットワークに接続できる環境を用意できるかなど。金額面では、導入当初にハード面では一定の経費がかかるが、ランニングコストとしては特別高いものではない。

提案の実現に向けた体制については、我々責任者に加え現場に入る社内の従業員を別に持って支えていく体制を組んでいきたいと考えている。

#### ■ 委員

夜間、深夜に緊急対応が必要になった場合、対応できる体制、緊急連絡先を記載しておくなどするのか。

#### ◇ フクシ・エンタープライズ

施設条例上、21時30分まで施設が利用できるが、その間は直接指定管理者にご連絡を頂くことで対応する。

年末年始を除いて、21時45分までは事務所に1人を配置し、必要に応じて現場急行をする。

また、施設の稼働がない状態であっても地域住民の方から通報いただく事もある。そうした対応も、重要だと考えている。

## ■ 委員

21時45分を超えた場合は、次の日以降の対応となるか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

そうになってしまうが、やむを得ないものと考えている。

## ■ 委員

他に指定管理を請け負われて、特によかったイベントなどの事例はあるか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

地域を巻き込む、ということがポイントだと思っている。

イベントをやってくれる講師なども指定管理者が人を引っ張ってくるのではなく、地元のプレイヤーを巻き込む、そういったものが、結局イベントとしては充実していく。そもそもの地区センターの在り方という部分で、そうしたアプローチが重要だと思っている。

例えば、別に市から委託を受け、さわやか健康体操という事業をさせていただいているが、その参加者の方に来ていただくなど。

また、現地を拝見すると、地域の団体の情報が看板に掲載されていたりする。そうした団体さんに地区センターを活用していただくよう呼びかけることなどを考えている。

## ■ 委員

諸々の管理経費の値上げに対応するというのは大事なことと思う。令和6年度の収支計算書を見ると、自主事業の割合が比較的低い。稼働率の問題もあると思われるが、現場施設も回られて、地域の価値観や市の視点など、事業者さんから見て印象はどのように考えられているか。

また、文化施設ではなくスポーツ施設を多く管理されているとのことだが、トラブルはどんなものがあり、それを防ぐための取組はどのようにされているか。

美術館の運営などもされてらっしゃるということか、受付案内業務などのイメージか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

施設の立地、ハード的な部分で、三沢地区や三中地区など、難しい部分もあると感じる施設はある。地元の方との連携が必要と考えている。

先ほどもあったが、自治会任せになっているという管理になっていて、例えば植栽周りをきれいに管理されているところはそのまま引き続きお願いしたいと思う。自治会さんごとに温度感が違うので、手の届かないような施設もあり、そうした届かないところに施設管理者として重点的に管理していくことが効率的な在り方と考えている。

また、区画整理や宅地開発が進み、こぎれいなところもある。そうしたところはポテンシャルを感じ

たところ。

公園が併設されているところもある。我々の手が届かない部分として、公園側の管理が行き届いていない場合、地区センターがいかに立派でも難しいと思う場所はある。逆に、公園側が魅力ある状態のところだと、子どもたちの居場所作りなど、事業をやるうえで非常にポテンシャルを感じた。

トラブル対応について、現場で対応するものと、会社で直接対応するものとある。対応するうえで一番重要なのが、ご意見を理解することだと考えている。まずはご要望をストレートに受け止めることが重要で、改善が図れる部分については自治体と協議の上対応していきたい。できない部分についても、きちんと理由を説明したうえでご納得いただけるよう努めていく。

文化施設の実績としては、券売もぎりが主流。展示品管理や企画などはしていない。美術館や博物館のPPP導入が進んできており、指定管理者では3件の実績がある。美術館、博物館、個人記念館などをやっている。そうした所ではイベントの企画などを自治体の学芸員さんと連携して対応している。

## ■ 委員

同種の指定管理者の実績で、5年以上の実績があるということによろしいか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

はい。

## ■ 委員

自動販売機の設置については、提案事業の扱いか、自主事業か。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

自主事業。今の事業者さんもされているので、管理をしていく上で必要な経費として引き続きさせていただきたいと考えている。

## ■ 委員

リモートロックの導入可能性調査は、必ずやっていくような位置付けか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

他の施設でも進めており、専門事業者さんにも、ビジネスの一環として協力いただいている。追加経費が発生するものではなく、導入可能性調査は基本的に実施していきたいと考えている。

## ■ 委員

ユニバーサル研修をされているとのことだが、その内容はこういったものか。

### ◇ フクシ・エンタープライズ

障害者対応やLGBTなどの課題について、セミナーをやっている外郭団体さんからeラーニングなどによるカリキュラムを受けている。

## ■ 委員

サービス向上を図る取組みとして、考えていることはあるか。



◇ **フクシ・エンタープライズ**

ひとつは、今まで使ったことがない人、入ったことがない人が足を運ぶためのきっかけを作る、という自主事業を展開いただきたい。ふたつめとして、既存の利用団体もいて、何を求めているかを把握した上で、備品面など、要望を受けながら費用対効果などもみながら取り組んでいきたい。

■ **委員**

自主事業のご説明はいただいたか。

◇ **フクシ・エンタープライズ**

プレゼンテーションでは時間の都合上割愛させていただいたが、様式 7 号の自主事業実施計画に記載のとおり取り組みたいと考えている。

■ **委員**

これらは既にどこかで実施されていることか。

◇ **フクシ・エンタープライズ**

健康体操系については自社の職員で展開している。文化教養系は自社では賅えない部分もあるが、昨年から管理をさせていただいている南平体育館でシルバー人材センターさんや社会福祉協議会さんから講師を派遣していただくなどして事業を展開している。そうした地域の力をかりながら実施していきたいと考えている。

(5) 主管課質疑応答（地域協働課）

■ **委員**

七生台の地区センターには人が常駐しているのか。

○ **施設所管課**

地区センターは基本的に自治会への再委託をしている。七生台地区センターは自治会が絡んでいない。令和 4 年度から毎月 1 回実施している抽選会の時だけ、シルバー人材センターへの再委託により人がいる、その為経費が掛かってくるもの。

■ **委員**

地区センターは市内の団体として使いたいということがあっても、一番の問題としては駐車場がないということ。今までなぜないのか、また今後も考えられないのか。

○ **施設所管課**

市では 66 箇所とかなりの数が設置されている。概ね半径 400m 以内にか所の設置、つまり徒歩圏内での利用が想定されているため、駐車場を設けていない。今後も今のところ検討していない。

■ **委員**

場所によっては駐車場を設け、よりオープンな利用ができないか、検討頂きたい。

■ **委員**

主管課の考え方としては、維持管理をしていきたいのか、にぎわいの醸成をしていきたいのか、理想的な考え方としてはどちらにウェイトを置いて考えられているか。もちろん両輪ではあるが、印象としては維持管理の方にウェイトがあるように感じた。

#### ○ 施設所管課

個人的には、維持管理の方にウェイトがあると考えている。

#### ■ 委員

独自提案について、どのように評価をすべきか大変悩ましい。提案をどの段階でやるやらないが決まるのか、金額をどのように捉えればよいのか。

#### ■ 委員

予算計上のスケジュールもあり、また予算書上大きな差は両者に無いように思う。自主事業の採用で予算が取れる部分は磨きの部分と、また法人の中で頑張っていただけのかなど捉えている。どの市も財源上大変なんだろうなという感じはある。その中で管理していただくのにふさわしい事業者さんを選定する、ということかと思う。

#### ■ 委員

地区センターは設置目的にあるように、市民及び市民の各種団体の社会福祉活動を推進し、という立場に立てば、現状自治会任せ、牛耳っている現状があり、自治会に加入していない人が使いにくい状況を生んでいると感じる。自治会加入率も下がっており、今後管理形態を変えたとしたら、自治会ありきでないように、もう少しオープンに、使い方、管理の仕方を変えていってほしい。

#### ○ 施設所管課

実際に、今年から自治会でなく地域団体が管理をしていただけるような地区センターも出てきている。

#### ■ 委員

管理運営委員会のような中間組織にいろんな方が参画していただいて、市から委託を受けて運営しているような場合がある。日野市ほどの地区センターの規模を抱えているところは、地域にプライドもあるだろうし、コントロールが大変だと思う。

#### ■ 委員

どこに視点を置いて評価するか、なかなか難しい。

#### ■ 委員

企業公社は自主事業の提案はどのようなものがあったのか。

#### ○ 施設所管課

自販機の設置や体操など、似たようなかたち。

#### ■ 委員

同じ様に事業を少しずつされていて、若干の収入があったようである。

## (6) 採点結果及び意見交換

### ○ 事務局

一度採点表をお返ししたので、事務局の入力が間違っていないか、読み上げるので確認いただきたい。

### ■ 各委員

今後は読み上げ不要として良い。

### ○ 事務局

承知した。

では、結果を発表する。

B社 718点、得点率68.4%

株式会社フクシ・エンタープライズ 822点、得点率78.3%

よって、日野市立地区センターの指定管理者候補者は、株式会社フクシ・エンタープライズとなった。

### ■ 委員

性質の異なる法人ということで、予算上の差異があったように思う。

B社さんは、雇用の面で、日野市の方々、現役世代を雇用したいという思いがあり、とても大事なことだと思った。

フクシ・エンタープライズさんの方ではどのように施設にアプローチされ、調整して、反映されていくのか、楽しみに思う。

市内事業者と市外事業者の差異みたいなところもあり、5年間使われる市民の方にとっての管理運営により資する方はどちらか、という観点から差をつけた点数となった。

### ■ 委員

プレゼンテーションとして、B社さんは大変熱量があった。

一方で、フクシ・エンタープライズさんは取りに行こうという意気込みを感じ、市の政策など大変よく調べて提案されているという印象があった。

この時間で向こう5年間の業務を決める、というのは大変難しい作業と思った。

### ■ 委員

フクシ・エンタープライズさんについては、業務で運営委託の検査結果を見ることがあるが、非常に対応をしっかりとされているという印象がある。日野に拠点を置かれていて、評判も良く、実行力をもって取り組んでもらえるよう期待している。

点数付けもしやすかった。次年度以降、評価項目とプレゼンの項目については、揃えておいてもらえるとより公平な競争になると思う。パワーポイントについても同様、ともかくわかりやすくしていただきたい。

お金のところについて方向性、ポイントについて、事務局から示していただきたい。

■ 委員

自主事業のお金の部分を予算として要件につけておいてもいいと思う。

いいものをやればどんどん高くなるが、2,000万円以内でできることを提案してください、と上限を設けて、自主事業に関する予算を概算でいいので入れていただければ、提案される事業者さんにとってもわかりやすくなると思う。そうすると、もしかしたら指定管理料を安く抑えたうえでいいものがでてくるかもしれない。

今後そうした「遊び」の部分についても概算でいいので設けるよう検討いただきたい。

■ 委員

今後5年間の契約を今回のプレゼンで決めてしまい、あと5年経てば新しい所が応募する。そのようなかたちではなく、PDCAを回していかないといけない。PDCAを見えるようなかたちで回していただければ、評価もしやすいのでは。

■ 委員

市民を含めたモニタリングを定期的な実施しているようである。

○ 事務局

中間モニタリングとして、別に日野市では市民評価委員会という市民委員もいる合議体の中で評価を実施している。当該事業者を選定していただいた委員の皆様に再度お声がけをして、中間年度に委員会を開き、活動を評価いただいている。結果については、市ホームページで公開されていた。

■ 委員

評価項目は公表されているのか。

○ 事務局

選定基準をHPに掲載している。選定表中、左2列の項目について列挙する項目を公表している。基準は、第1回に皆様にお配りしたもの。

■ 委員

報告書は公開されるとのことだが、落ちた事業者さんにも丁寧な対応を頂きたい。

○ 事務局

報告書は最終日でご確認いただく。皆様の意見も記載していくほか、採点表に記載していただいたことも意見として記載させていただきたい。

■ 委員長

では、本日の案件はすべて終了しました。ありがとうございました。

(閉会)